

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	270301336		
法人名	医療法人すみれ会		
事業所名	グループホーム舟見町		
所在地 (電話番号)	〒031-0801 青森県八戸市江陽5丁目7-24 (電話) 0178-73-5725		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 11月 16日	評価確定日	平成 20年 1月 15日

【情報提供票より】(平成 19年 10月 15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 1月 15日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤	6人, 非常勤 1人, 常勤換算 6.6人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り		
	2階建ての 階 ~ 1階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,000円			

(4) 利用者の概要(10月 15日現在)

利用者人数	9名	男性	3名	女性	6名
要介護1	4名	要介護2	4名		
要介護3	0名	要介護4	1名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 78.5歳	最低	72歳	最高	87歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	美保野病院
---------	-------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは住宅地の一角にあり、二階建ての一階部分で全体としてぬくもりを感じる色調です。玄関・フロアはバリアフリーでワンフロアとなっており、各部屋を一望でき安全面にも配慮されています。又、一人になれる場所も確保されくつろいでいます。職員は理念を念頭に、日々笑顔と優しさを心がけ、家庭的でぬくもりのあるのんびりした雰囲気を大切に、安心して生活が送れるよう支援しています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回評価では、要改善点無し。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員は自己評価の意義・目的を理解し、取り組んでいる。その結果は伝達され、話し合いが持たれている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議には市担当者・町内会長・民生委員・家族の方等参加され、その話し合いの内容・結果は全職員に伝達され、サービス向上に努めている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>毎月、お小遣い帳や近況の報告等積極的になされ、ホーム便りを送付している。家族アンケート等行い、運営に生かしている。意見箱も設置されている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地元商店での日常的な買い物・散歩が行なわれ、町内会や公民館の行事等へ積極的に参加され、町内会へも加入している。地元小学校との交流も図られている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員は、三つの心(笑顔を絶やさず、心かよう会話、四季を楽しむ)を理念とし、常に念頭において一人ひとりの触れ合いを大切にしており、地域密着型サービスを理解し、ケアに生かすようにしている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員採用時に理念が話されている。月一回の会議、ミーティング等で常に理念に触れ、確認され日々取り組まれている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	町内会に入会し、地域の人々との交流を図っている。地元商店では日常的に買い物をし、町内会及び公民館の行事には積極的に参加している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>管理者・職員は自己評価及び外部評価の意義や目的を理解し、改善点などを会議等で話し合い実践できるよう取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議が実施されており、話し合いの内容・結果は全職員へ報告され、話し合いサービス向上に努めている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の担当者とは、相談事のほか、情報提供等で連絡を取りあっている。市の担当者・民生委員・町内会長・家族・学校関係者と連携しながら、共にサービス向上に取り組んでいる。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>管理者は権利擁護事業・成年後見制度の研修を受け、全職員に伝達し周知徹底を図り活用できるようにしている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待についての関連法や定義等を内部研修で学び、全職員が理解し虐待の防止が図られている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入所時、重要事項説明書等で十分説明し、納得され同意を得ている。解除についても再度説明し同意を得ている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>年4回、ホーム便りを送付している。又、毎月お小遣い帳・領収証等を送付し、健康状態も報告されている。状態変化によってはその都度報告されている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族アンケートや面会時の意見等を職員に伝達し、話し合い運営に生かされている。意見箱も設置されている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>やむを得ない異動等はあるが、その際には引継ぎをていねいにし、スムーズに移行されている。新職員は研修を受け、利用者きちんと紹介されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修に積極的に参加しており、内部研修も実施されている。外部・内部研修の報告は職員会議でされ、全職員に伝達されている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同じ地区のグループホームとは研修・講演等で交流が活発に行われている。市内のグループホーム協議会との連携も行われ、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご家族と相談し、家族・友人との面会を多くしてもらったり、外泊を進めたりして、孤独感を持たせないよう支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常的に会話を多く持ち、一緒に行動し共に支えあえる関係を築いている。又、得意なことを聞き出し、調理や花作りに生かしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>ご家族の協力を得ながら、言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。又、職員は情報の共有化を図っている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居時、本人・家族と話し合い同意を得ている。また日常、本人との会話より要望を聞きだしている。毎月の意見交換・カンファレンス等で話し合い、計画を作成している。家族や施設外の関係者の意見も参考にし計画に盛り込んでいる。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は3ヶ月毎に、状態に変化があった場合には、その都度見直されている。本人・家族・必要な関係者との話し合いがなされている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人・家族の状況・要望等により、送迎・通院・外出の支援等臨機応変に対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人及び家族の希望するかかりつけ医となっている。協力病院による訪問診療もなされている。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>契約時に重度化・終末期のあり方について、家族と話し合い同意を得ている。又、その情報は全職員が共有している。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>日々の関わりの中で個人情報保護の理解や漏洩防止が図られており、ミーティング等で職員の意識の向上がなされている。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>本人の希望により、買い物・散歩・ドライブ等その日の状態に配慮しながら柔軟に対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>その日のメニューはチラシを見ながら一緒に決め、買い物は同行している。調理・後片付け等も一緒に行っている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴日は週4日だが、本人の希望により柔軟に対応されている。入浴拒否者については、家族と相談し工夫している。</p>		
(2)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>掃除機がけ・洗濯・茶碗ふき・食事準備・縫い物・おやつ作り等お願いできそうな仕事を頼み支援している。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>街の中という立地条件を生かし、買い物・散歩・ドライブ・外食等可能な限り支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員会議・ミーティング等で日常的に話し合わせ、拘束をしないケアに取り組んでいる。内部研修も行なわれ、職員の意識向上を図っている。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全職員は日中、玄関に鍵をかけないことを理解し、利用者が自由な暮らしができるよう支援している。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、消防署立会いの避難訓練は実施され、指導を受けている。	○	通報・避難訓練等記録の整備及び地域住民の協力、参加を願う等の体制の確立を期待したい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分補給は定期的に行なわれ、全員の残量チェックをし、一日の栄養バランスや摂取量を把握している。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症対策マニュアルが作成され、見直しも行なわれている。職員は研修会を受け、新しい知識・技術の習得に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有スペースは広さ・採光等充分配慮し工夫されている。又、意識して季節感を採り入れ、利用者はゆったり安心して心地よく過ごしている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族の協力を得て、本人が使い慣れた物、箸・茶碗・小物入れ等馴染みの物が置かれている。</p>		

 は、重点項目。